

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	※説明内容は別紙資料のとおり。以下、質疑応答の部分を記載。 〈テーマ1：博物館〉 ・収蔵スペースについて、旧美中校舎にも農機具等を保管している。本館は温湿度管理が必要な貴重資料を収蔵しており、30数年で資料が増加し続けている。新収蔵庫の建設は費用面が大きな課題である。学校教育活用（学校に近い場所）と管理の観点（博物館に隣接）のどちらを優先するか。 ・旧美中は雨漏りが課題となっており、そちらに保管しているものの対応も急務である。義務教育学校の方針決定後、4校の跡地（例：北中）を収蔵庫として活用することも財政当局から提案されており、選択肢の一つとして検討している。担い手不足の課題は博物館にとどまらず、前回の町民生活部会でも議題となった共通課題であり、計画全体として横断的な視点での検討が必要である。 ・旧中学校校舎の建物の耐震性・経年劣化への懸念がある。最小限の耐震補強や温度管理設備の整備で利用可能ではないか。 →単なる保管庫でなく、展示も可能な収蔵施設（見せる収蔵庫）にする方向性についても内部で検討している。 ・博物館については、道内各地を転勤した方から美幌博物館は充実していると高評価を得た経験を紹介し、引き続きの充実を求める。 ・VR・AR等の活用（網走監獄博物館の3Dテクスチャマッピング等）の可能性もある。来館のきっかけづくりとして博物館コンテンツのデジタル化・オンライン公開が有効である。 ・博物館法改正に伴い、①収蔵資料のデータベース化・インターネット公開、②多様な主体との連携（観光・まちづくり等）を新たな取り組みとして計画に位置づけた。みどりの村との連携や地域の自然情報（オジロワシ、フクロウ等）を活かした情報発信にも積極的に取り組む。 ・デジタルコンテンツ（VR等）は来館のきっかけとなり得るが、実際に現場に足を運ぶ・実物資料を見るという体験価値が博物館の本質である。 ・町民アプリに自然情報（野生動物の目撃情報等）を投稿できる機能を設け、関係部署がリアルタイムで情報共有できる仕組みを提案した。AIによる情報集約も有効である。 →町民アプリについて、情報発信・共有ツールとしての多分野活用を担当部署と協議しており、全分野での連携を視野に入れている。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	・ みどりの村の指定管理業者が変わる中での博物館との連携も検討が必要。 ・ 博物館本館から離れた収蔵庫では、来館者への資料提示や資料の移動リスクが増大するため、本館に近い場所が理想である。義務教育学校跡地等で近距離に良い施設があれば柔軟に対応したい。 ・ 郷土資料の収蔵について、将来世代への財政負担（借金）を生まないよう、義務教育学校跡地等の有効活用も含めた多角的な検討が必要である。 みどりの村整備と一体的な収蔵庫整備など、トータルでの計画的検討が必要である。 ・ 博物館が町レベルでは珍しい充実した資料と学芸員体制を持つ存在であり、ふるさと教育の拠点としての価値を発信していくことが重要である。 ・ みどりの村整備のタイミングに合わせ、博物館も含めた一体的な整備・活用を図ることが費用面でも有効である。 〈テーマ２：文化芸術活動〉 ・ びほーのギャラリーが常時開放されていない現状について、フリーで入れるようにすることを検討してほしい。 → ギャラリーは稼働率が高いため常時開放は困難である。ロビーでのサークル展示や夏期クーリングシェルター利用で対応している。有効活用の方法については引き続き検討が必要である。 ・ 文化活動施設の利用について、文化連盟未加盟の劇団でもしゃきっとプラザ等を活用できる柔軟な運用を検討してほしい。 → 文化連盟未加盟のサークルも含め、社会教育関係団体として登録された団体には施設使用料の減免処置を行っており、こうした小さなサークルの活動も継続的に支援する。社会教育関係団体としての登録・施設使用料の減免制度を活用することで、対応可能である。 ・ 文化振興方針の計画策定にあたっては、ホール中心に限らず、指導者育成・施設横断的な文化振興の方向性を盛り込む。他自治体の文化振興計画も参考にしながら、美幌町として目指す文化の方向性を町民と共有できる計画を目指す。 ・ 人口減少に伴う文化・スポーツ・教育分野の担い手不足を全体課題として取り上げ、10年後の人口動態を踏まえた担い手育成・循環の仕組みを計画に盛り込むべきである。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	・担い手不足は生涯学習・文化・スポーツ等の各分野に共通する課題であり、他部会でも同様の意見が出ている。計画全体として横断的な対応を検討していく。数値化が難しい目標についても、担い手を育む姿勢を計画の文言として盛り込む方向で検討する。 ・高校との連携が大きな意味を持つとし、高齢者から若者への技術伝承・循環の仕組みを検討すべきである。 〈テーマ3：文化財〉 ・地域の伝統的な踊りの継承について、地区内の人によるものへのこだわりが強く、地区外への継承が難しい。 →映像（8ミリフィルム等）での記録保存・デジタル化が効果的ではないか。現在も断片的に映像が残っている。